

2200日の物語 ～芝根の名のもとに～

第17話（R03.09.14）

～ 通常登校、開始 ～

2週間の分散登校期間が終了しました。分散登校の間、子供たちはもちろんのこと、子供たちに関わってくれた全ての方に感謝したいと思います。

緊急事態宣言下ということもあり、学校では、感染拡大防止の観点から様々な対策をしました。基本的な感染症対策はもちろんのこと、共有する場所を減らすために特別教室の使用を見合わせたり、少人数指導をTT指導に変更したりしました。トイレ等の清掃や消毒作業においても、本校の支援員・補助員・教育DX推進スタッフ・校務補助員など、たくさんの方の手をお借りしました。

他にも、一時預かりを担当する職員の配置を考えたり児童が学ぶ課題を作成したりしました。教職員数が少ない学校にとっては、ここの部分でも難しかったと感じています。ただ、本校教職員が協力して、プラスアルファの仕事をしてくれたので、何とか乗り切ったと感じています。

また、家庭においても、登校しない日のお子さんをどのように過ごさせるのかという部分で苦労したのではないかと推測します。お子さんと一緒に過ごす人のこと、昼食のこと、何か心配があったときのことなど、対応に追われたことと思います。本当にありがとうございました。

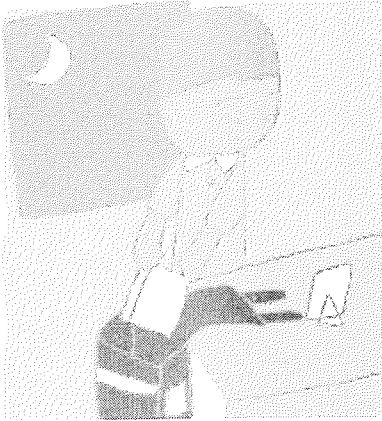
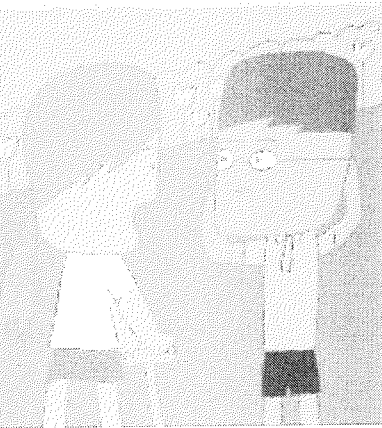

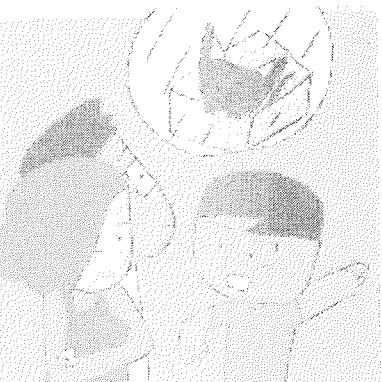
さて、本日から通常登校が始まります。しかし、緊急事態宣言は、まだ続いているのです。一人一人が気を緩めずに、みなさんと一緒に感染症拡大防止の対策を進めていきたいと思っています。ご理解・ご協力、よろしくお願いいたします。

子供たちも、登校する日が違ったグループの友達との再開を楽しみにしています。あえなかった時間が、「会いたい」という気持ちを高めているかもしれませんね。このような気持ちをしっかり伝え合い、友情の絆が深まるとすてきですね。

コロナ禍で、ほとんどの方がストレスを抱えながら過ごしていることと思います。子供たちも例外ではないと思います。一刻も早く、コロナウイルス感染症が収束することを願うばかりです。ただ、コロナ禍だからこそ、学んだこともあります。生活していれば、よいことも、残念なことも、経験します。全ての経験が、未来を創り出す一歩につながっています。みんなで協力して、この大きな壁を乗り越えていきたいですね。

気付けばいつか見える

どんな一歩も未来につながる

	<p>15 寝る前に明日の準備をしよう</p> <p>寝る前に明日の準備をしておくことは、大人になっても必要な生活習慣です。小さいうちからしっかり身につけましょう。</p> <p>当日になってあれがない、これがないと探しまわったのでは、朝があわただしくなり、遅刻や思わぬ事故につながります。</p>
	<p>20 人の話をしっかり聞こう</p> <p>友だちが何か話しているときは、その友だちのほうに顔を向けて聞き、なるほどと思ったら、相づちを打つ。これが話を聞く姿勢です。</p> <p>そうすることによって、友だちも話しやすくなります。</p> <p>これは、授業中、先生の話を書く場合も同じです。</p>
	<p>28 信号は必ず守ろう</p> <p>信号を無視するととても危険です。青になってもすぐ渡らず、ちゃんと左右を確認してから渡りましょう。赤のときは渡らないで必ず待ちましょう。</p> <p>点滅のときは無理に渡らず、また青になるまで待ちましょう。</p>
	<p>43 困ったときは相談しよう</p> <p>何か困ったことがあったときは、迷わずにお父さん、お母さん、先生、友だちに相談してみよう。</p> <p>一人で考えて解決しなかったことも、みんなで考えればきっと解決するはずです。</p>